

12 公開特許公報 (A)

昭56-29209

51 Int. Cl.³
G 02 C 5 00
11 00

識別記号

序内整理番号
7174-211
7174-211

43 公開 昭和56年(1981)3月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

54 眼 鏡

東京都杉並区永福3丁目37番12号

21 特 願 昭54-104088

71 出 願 人 一色宏

22 出 願 昭54(1979)8月17日

東京都港区三田4丁目3番15号

72 発 明 者 一色宏

71 出 願 人 斉藤周作

東京都港区三田4丁目3番15号

横浜市戸塚区小雀町507番地

72 発 明 者 斉藤周作

71 出 願 人 満尾浩治

横浜市戸塚区小雀町507番地

東京都杉並区永福3丁目37番12号

72 発 明 者 満尾浩治

261

明 細 書

1. 発明の名称

眼鏡

2. 特許請求の範囲

レンズを除く柄部、枠部またはその両方に、
珪素及び微結晶放射能を有するウランニウム
またはトリウムを等の放射能物質を設けた
ことを特徴とする眼鏡。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、レンズを除く柄部、枠部またはその
両方に、珪素及び微結晶放射能を有するウラ
ンニウムまたはトリウムを等の放射能物質
を設けたことを特徴とする眼鏡に関する。

珪素は体液をイオン化して運動エネルギーの
一部を電気エネルギーに変え、血行を良くする
と共に血液をアルカリ性化する作用があること
が知られている。これは破場内に存在した酸素イオン
の代謝作用によるものと考えられるが、破場内
に存在した酸素イオンは代謝作用のエネルギー消費に
よる補給には限界がある。また放射能物質は

262

物質のイオン化作用で過量の微結晶放射能を
有する放射能物質は細胞の新陳代謝を阻害する
ため、神経系や電子配列に変化を及ぼしてその
神経作用を有することになり、放射
能物質の外用は人体に危害を及ぼし、より微量
な放射能物質でも体内に侵入することなくしか
も健康上に危害をもたらす健康害の発生が懸
念されている。

本発明は、複数の珪素を、相対する珪素が
互いに引き合いあるいは反発する状態で固定し
その中間に放射能物質を固定すれば、代謝作用に
より消耗される酸素イオンが放射能物質によっ
て速に補給され、珪素と放射能物質の作用が
相乗して活性イオンの活動を加速増進せよとし、
このため放射能物質を利用した従来の健康害制
に比し、放射能放射能物質を微量使用するだけ
で人体に危害を及ぼすことなく健康をもたら
すことを見出し、これを眼鏡の柄や枠に使用すべ
し、人体の組織内の停滞した老廃物を溶解し、
血液を活性化することによりのみならず、神経

今8時前に（4）に設計室に付いた。（5）は設計室の
設計に就いてあることには着目して居るが、大に大に
（6）は、

進行圖面第1圖は、柄1に硃石2と放射状物
 質3を交互に塗着した状態1例を示し、4はレ
 ース、5は柄である。第2圖は相対する硃石2
 ・2が引き合ふ状態に固定された時の硃石2と
 放射状物質3の配給例を示し、第3圖は相対す
 る硃石2・2が反挽き合ふ状態に固定された時
 の硃石2と放射状物質3の配給例を示す。即ち
 第1圖の状態の柄1には第2圖または第3圖の
 配給法で硃石2と放射状物質3が固定されてお
 り、柄5にも上記配給法で硃石2と放射状物質3
 が固定されておいたことは言うまでもない。また
 第4圖に示されるように、柄1に硃石2と放射
 状物質3を連続して交互に配給固定してもよい。

第5圖は、成熱させた柄1の孔に硫石2または粉狀植物質3を充填して予3包着液1例を注し、第6圖は合成樹脂を柄1の製造時、原料に粉硫石2または粉狀植物質3の何れかを混

44

11573516-20209(2)

合して硬化させ、柄1'が混合されている時、放射状性物質3'を、また粉状放射状性物質3'が混合されている時は硬石2'を、内側に付けた処に密着した柄1'側を示す。尚第1'側に示されるように、柄1'の製造時原料に粉硬石2'と粉状放射状性物質3'とを混合して再び硬化させてもよい。第8'図は粉硬石2'がまたは粉状放射状性物質3'の何れかを柄1'の製造時原料に混合すると共に、放射状性物質3'がまたは硬石2'をその中に埋め込んで硬化させた在柄1'側を示す。第9'図は柄1'の内側に胆状凹溝を設けて再び、硬石2'と放射状性物質3'とを交互に挿嵌固定してなる柄1'側を示す。第4'図の柄1'、硬石2'と放射状性物質3'の固定に通じている。第4'図に示ける6は黄線面を柄1'である。第5'図・第6'図及び第9'図に示ける硬石2'及び放射状性物質3'は柄1'の製造時原料に原料を硬化させて固定してよい。第10'図は示す粉硬石2'と粉状放射状性物質3'を混合してつくった合成樹脂基板7を柄1'に接着剤を利用するが、加熱接着する第1'で固定したものを示し、柄1'

205

は原料に精製放射能物質 γ を混合して、その、硝石 α を所定の位置に配給して硬化させたものか、原料に精硝石 β を混合して、その放射能物質 γ を所定の位置に配給して硬化させたものに代えることができる。尚、柄 δ に硝石を埋給して、おくら板片を埋給しておけば、原料に精製放射能物質 γ を混合して、その硝石 β を所定の位置に配給して硬化させたものは、これを柄 δ に着脱自在に装着することができる。第(1)回は、精硝石 β は、放射能物質 γ を原料に混合して、その、内側に樹脂状固膜を形成すると共に、その底部に金箔柄 ϵ を収納する凹溝を形成して硬化させた板片の上記凹溝に金箔柄 ϵ を挿入し、硬化した板片を樹脂状固膜に装着したものとし、既製の金箔柄 ϵ にも板片 γ を着脱自在に装着することができることとなる。尚、柄 δ も板片同様、に硝石 β または放射能物質 γ を所定の位置に配給するか、原料に精製放射能物質 γ または精硝石 β を混合して、おくら硬化させておくことはもちろんである。

Wib

以上、破石と放射性物質との関係法に就いて述べたが、
 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌

本發明は詳記のように構成され、眼鏡に劣性放射線物質を極く微量と硝石を設けることにより、眼鏡をかける人間の新陳代謝を旺盛にすることが特に効果をもたらし、病後の回復その他に効果がある等の効果を得る。

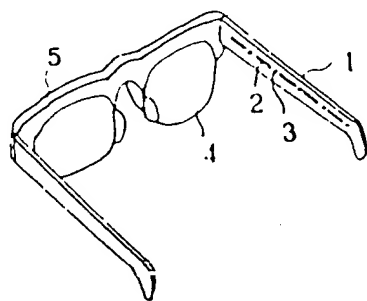
4 (四): E, O, 証明及説明

図付例題は本発明の実施例を示すものであつて、第1図は眼鏡1例の斜視図、第2図は第1図の頭頂上と斜射物像の位置との位置を示す図、第3図は眼鏡の柄1例の側面図、第4図～第7図は眼鏡の柄7例の側面図である。

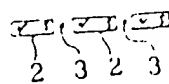
特許生個人

一色 云
百 原 国 作
酒 尼 送 治

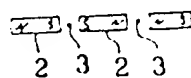
第1圖



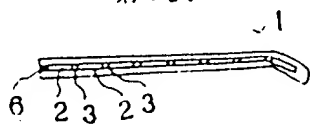
第2圖



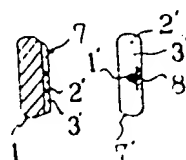
第3圖



第4圖



第10圖 第11圖



第5圖

第6圖

第7圖

第8圖

第9圖

